

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 問1 | 答え 2 口分田 | 6歳以上の男女に対し、戸籍の記載に従って一定面積の口分田を支給しました。農民はその土地で耕作する代わりに、租などの税を納める義務を負いました。土地は私有ではなく、本人が死亡した際には国に返還する決まりでした。 |
| 問2 | 答え 2 鎮護国家 | 鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。 |
| 問3 | 答え 3 6歳以上 | 戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。 |
| 問4 | 答え 4 荘園 | こうして形成された私有地が荘園です。有力者は税を逃れるために土地を荘園として確保し、支配力を強めました。これにより、天皇を中心として全国の土地と民を直接支配する「公地公民」の制度が維持できなくなりました。 |
| 問5 | 答え 4 豪族 | 郡司は、国司の指揮下に入り、戸籍の作成や徴税の補助といった行政の実務を行いました。終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。 |
| 問6 | 答え 4 東大寺 | 東大寺は、当時の都である平城京に建立された巨大な寺院です。特に聖武天皇が発願した「東大寺の大仏」は、当時の国家の威信と仏教への信仰心の象徴でした。この寺院の宝物を収める正倉院には、シルクロードを經由して伝わった多くの貴重な宝物が現在も保管されており、当時の国際交流の様子を伝えています。 |
| 問7 | 答え 2 東大寺の大仏 | 「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。 |
| 問8 | 答え 4 防人 | 防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。 |
| 問9 | 答え 1 口分田 | 口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。 |
| 問10 | 答え 2 墾田永年私財法 | 743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永代私有を認めるものです。それまでは一定期間後に土地を返還するルールでしたが、この法律により私有が認められたことで、農民や有力者による開墾が活発になりました。 |
| 問11 | 答え 2 西アジア | 日本が派遣した遣唐使を通じて、唐には西アジアのペルシャ文化やインドの仏教美術などが流入していました。それらは日本にも伝わり、東大寺の正倉院に収められている宝物の中に、ガラス器や独特の模様が施された品々として確認できます。 |
| 問12 | 答え 3 天平文化 | 天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。 |
| 問13 | 答え 4 太政官 | 太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。 |
| 問14 | 答え 3 校倉造 | 校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。 |
| 問15 | 答え 1 平城京 | 710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。 |

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|----------------|--|
| 問1 | 答え 2 令和 | 「令和」は、日本で初めて日本の古典（国書）から選ばれた元号です。奈良時代の歌人である大伴旅人らが、梅の花を愛でる宴で詠んだ歌の序文にある「初春の令月にして、気淑く風和らぎ」という一節から引用されました。「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められています。 |
| 問2 | 答え 3 校倉造 | 校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。 |
| 問3 | 答え 1 国司 | 国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。 |
| 問4 | 答え 2 東大寺 | 東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。 |
| 問5 | 答え 3 天平文化 | 天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。 |
| 問6 | 答え 4 班田収授法 | 班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。 |
| 問7 | 答え 4 正倉院 | 聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。 |
| 問8 | 答え 1 口分田 | 口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。 |
| 問9 | 答え 2 シルクロード | シルクロードは、東アジアの中国から西アジア、さらにはヨーロッパへ通じる壮大な交易路です。この道を通じて、宝石、織物、香料、あるいは仏教やキリスト教などの宗教、芸術の技法が伝播しました。日本にもその影響が及び、当時の奈良に伝わった宝物の中には、シルクロードを経由して渡来したものが見られます。 |
| 問10 | 答え 4 太政官 | 太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。 |
| 問11 | 答え 3 律令国家 | 律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。 |
| 問12 | 答え 3 中央集権 | 唐の律令制度を模範として、戸籍を作成し、国司を地方に派遣して全国を支配する体制を整えました。天皇が全権を握り、官僚を通じて地方まで法律や税を平等に行き渡らせる政治構造です。 |
| 問13 | 答え 4 国司 | 国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。 |
| 問14 | 答え 3 6歳以上 | 戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。 |
| 問15 | 答え 1 シルクロード | シルクロードは「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。この道を通じて、ガラス製品やベルシャ風の文様、五絃琵琶といった西アジアの楽器などが日本へ伝わりました。正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々を納めた宝庫であり、国際色豊かな天平文化を今に伝える貴重なタイムカプセルとなっています。 |
| 問16 | 答え 3 鑑真 | 唐の僧である鑑真は、日本の僧からの熱心な招聘に応じ、5度もの遭難や失明という苦難を乗り越えて、6度目の来日を果たしました。日本に正しい仏教を伝え、多くの僧に戒を授けたほか、平城京に唐招提寺を建てて修行の場としました。 |

問1 古代、中国の都から西アジアまでを結び、日本へ多くの貴重な文物や文化を伝えた交易路を何という？

1. 茶の道 2. シルクロード 3. 塩の道 4. 海の道

問2 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？

1. 唐招提寺 2. 法隆寺 3. 薬師寺 4. 正倉院

問3 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？

1. 三世一身法 2. 墾田永年私財法 3. 大化の改新 4. 大宝律令

問4 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？

1. 官僚制 2. 律令制 3. 徴兵制 4. 封建制

問5 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？

1. 国風文化 2. 白鳳文化 3. 天平文化 4. 飛鳥文化

問6 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

1. 新古今和歌集 2. 万葉集 3. 古今和歌集 4. 懐風藻

問7 平城京の道路が整然と区画されていた様子を例える表現を何という？

1. 過密都市 2. 散村 3. 条坊制 4. 碁盤の目

問8 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？

1. 白鳳文化 2. 飛鳥文化 3. 天平文化 4. 国風文化

問9 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？

1. 沿岸警備 2. 軍事訓練 3. 徴兵制度 4. 辺境警備

問10 大化の改新以降、土地や人民はすべて国家のものであるとした原則を何という？

1. 土地私有制 2. 墾田永年私財 3. 公地公民 4. 荘園公領制

問11 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？

1. 保 2. 公領 3. 名田 4. 荘園

問12 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？

1. 国分寺 2. 元興寺 3. 大安寺 4. 国分尼寺

問13 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？

1. 大化の改新 2. 飛鳥浄御原令 3. 大宝律令 4. 養老律令

問14 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集 2. 懐風藻 3. 万葉集 4. 新古今和歌集

問15 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 郡司 2. 惣領 3. 国司 4. 里長

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-----------------|---|
| 問1 | 答え 2 シルクロード | シルクロードは、東アジアの中国から西アジア、さらにはヨーロッパへ通じる壮大な交易路です。この道を通じて、宝石、織物、香料、あるいは仏教やキリスト教などの宗教、芸術の技法が伝播しました。日本にもその影響が及び、当時の奈良に伝わった宝物の中には、シルクロードを経由して渡来したものが見られます。 |
| 問2 | 答え 4 正倉院 | 正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。 |
| 問3 | 答え 2 墾田永年私財法 | 743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。それまでの「公地公民」の原則を大きく転換し、貴族や寺院による土地開発を促進しました。 |
| 問4 | 答え 2 律令制 | 律令制は、中央に省を置く官僚機構や、地方への国司の派遣、戸籍をもとにした班田収授法などの制度によって構成されています。これにより、国家による土地と人民の直接的な統治が実現しました。 |
| 問5 | 答え 3 天平文化 | 天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。唐の影響だけでなく、シルクロードを通じて伝わった西アジアの文化の影響も強く見られ、国際的で豪華な特徴を持っています。代表例として、東大寺の大仏建立や、正倉院に保管されている宝物などがあります。 |
| 問6 | 答え 2 万葉集 | 万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生き生きと表現されています。 |
| 問7 | 答え 4 碁盤の目 | 平城京の道路は、東西南北に直線的に整備され、まるで碁盤の盤のような「碁盤の目」状の区画（条坊制）となっていました。これにより、中央政府の役所や寺院、貴族の家などが計画的に配置され、非常に秩序だった都市空間が実現しました。この構造は、後の平安京にも受け継がれることとなります。 |
| 問8 | 答え 3 天平文化 | 天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。 |
| 問9 | 答え 1 沿岸警備 | 防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任せられました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりません。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。 |
| 問10 | 答え 3 公地公民 | 7世紀の「大化の改新」によって打ち出された政策です。すべての土地を「公地」、すべての人民を「公民」と定義し、国家が直接管理することを目指しました。これにより班田収授法が成立し、税の徴収が計画されました。 |
| 問11 | 答え 4 荘園 | こうして形成された私有地が荘園です。有力者は税を逃れるために土地を荘園として確保し、支配力を強めました。これにより、天皇を中心として全国の土地と民を直接支配する「公地公民」の制度が維持できなくなりました。 |
| 問12 | 答え 4 国分尼寺 | 国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。 |
| 問13 | 答え 3 大宝律令 | 701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強固なものとなりました。 |
| 問14 | 答え 3 万葉集 | 万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。 |
| 問15 | 答え 1 郡司 | 「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。 |

問1 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？

1. 兵士 2. 衛士 3. 健児 4. 防人

問2 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？

1. 645年 2. 794年 3. 1185年 4. 710年

問3 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？

1. 万葉集 2. 古今和歌集 3. 懐風藻 4. 新古今和歌集

問4 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

問5 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣新羅使 2. 遣隋使 3. 遣明使 4. 遣唐使

問6 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？

1. 瀬戸内海 2. 日本海 3. 太平洋 4. 東シナ海

問7 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？

1. 東大寺 2. 大安寺 3. 興福寺 4. 正倉院

問8 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？

1. 三世一身法 2. 墾田永年私財法 3. 大化の改新 4. 大宝律令

問9 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？

1. 戸籍 2. 木簡 3. 正税帳 4. 計帳

問10 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？

1. 神祇官 2. 検非違使 3. 弾正台 4. 太政官

問11 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？

1. 光仁天皇 2. 称徳天皇 3. 聖武天皇 4. 元明天皇

問12 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 郡司 2. 惣領 3. 国司 4. 里長

問13 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？

1. シルクロード 2. 海上の道 3. 塩の道 4. 茶の道

問14 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？

1. 藤原京 2. 平城京 3. 長岡京 4. 平安京

問15 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？

1. 仏国土思想 2. 鎮護国家 3. 神国思想 4. 王権神授説

問16 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？

1. 郡司 2. 里長 3. 防人 4. 国司

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-----------------|--|
| 問1 | 答え 4 防人 | 防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。 |
| 問2 | 答え 4 710年 | 710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。 |
| 問3 | 答え 1 万葉集 | 万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。 |
| 問4 | 答え 1 平城京 | 710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。 |
| 問5 | 答え 4 遣唐使 | 遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。 |
| 問6 | 答え 4 東シナ海 | 東シナ海は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。特に大陸へ向かう際は、季節風や海流の影響を大きく受け、多くの留学生や僧侶が海に没しました。無事に到着できたのは一部の船のみということも珍しくありませんでした。 |
| 問7 | 答え 4 正倉院 | 聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。 |
| 問8 | 答え 2 墾田永年私財法 | 743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。それまでの「公地公民」の原則を大きく転換し、貴族や寺院による土地開発を促進しました。 |
| 問9 | 答え 2 木簡 | 木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。これには税の品目や産地、送り主などが記されており、現在の配送伝票のような役割を果たしました。 |
| 問10 | 答え 4 太政官 | 太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。 |
| 問11 | 答え 3 聖武天皇 | 聖武天皇は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。彼が中心となって栄えた文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使を通じて唐や西域の文化を積極的に取り入れました。 |
| 問12 | 答え 1 郡司 | 「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。 |
| 問13 | 答え 1 シルクロード | シルクロードは「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。この道を通じて、ガラス製品やペルシャ風の文様、五絃琵琶といった西アジアの楽器などが日本へ伝わりました。正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々を納めた宝庫であり、国際色豊かな天平文化を今に伝える貴重なタイムカプセルとなっています。 |
| 問14 | 答え 2 平城京 | 710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。 |
| 問15 | 答え 2 鎮護国家 | 鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。 |
| 問16 | 答え 4 国司 | 国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。 |

問1 平城京の設計のモデルとなった、唐の都の名前を何という？

1. 平安京 2. 長安 3. 洛陽 4. 平城京

問2 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 桓武天皇 3. 孝徳天皇 4. 聖武天皇

問3 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 聖武天皇 3. 持統天皇 4. 桓武天皇

問4 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？

1. 645年 2. 794年 3. 1185年 4. 710年

問5 律令制において、郡の長として地方の政治を担った有力者を何という？

1. 渡来人 2. 百姓 3. 貴族 4. 豪族

問6 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 郡司 2. 惣領 3. 国司 4. 里長

問7 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

1. 班田収授法 2. 租庸調 3. 庚午年籍 4. 戸籍法

問8 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？

1. 遣高麗使 2. 遣明使 3. 遣隋使 4. 遣唐使

問9 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？

1. 国司 2. 防人 3. 郡司 4. 里長

問10 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？

1. 一国平均役 2. 公地公民 3. 土地台帳 4. 荘園公領制

問11 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？

1. 太宰帥 2. 郡司 3. 国司 4. 里長

問12 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣新羅使 2. 遣隋使 3. 遣明使 4. 遣唐使

問13 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？

1. 沿岸警備 2. 軍事訓練 3. 徴兵制度 4. 辺境警備

問14 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？

1. 藤原京 2. 平城京 3. 長岡京 4. 平安京

問15 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？

1. 行基 2. 鑑真 3. 空海 4. 最澄

問16 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|---------------|--|
| 問1 | 答え 2 長安 | 長安は、当時の中国の首都であり、碁盤の目状にきれいに区画された都市構造を持っていました。日本はこの長安の計画を参考にして、平城京を建設しました。中央に朱雀大路という広い通りを通し、東西の市（市場）を配置するなど、国家の権威を象徴する都市づくりが行われました。 |
| 問2 | 答え 4 聖武天皇 | 聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。 |
| 問3 | 答え 2 聖武天皇 | 聖武天皇は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、東大寺に巨大な大仏を造るなど、壮大な国家プロジェクトを主導しました。その信心深さとスケールの大きさは天平文化の頂点を示しています。 |
| 問4 | 答え 4 710年 | 710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。 |
| 問5 | 答え 4 豪族 | 郡司は、国司の指揮下に入り、戸籍の作成や徴税の補助といった行政の実務を行いました。終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。 |
| 問6 | 答え 1 郡司 | 「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。 |
| 問7 | 答え 1 班田収授法 | 班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。 |
| 問8 | 答え 4 遣唐使 | 遣唐使は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。阿倍仲麻呂や最澄、空海など、多くの著名な人物も遣唐使として渡航し、帰国後に日本の文化や仏教の発展に大きく貢献しました。 |
| 問9 | 答え 1 国司 | 国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。 |
| 問10 | 答え 2 公地公民 | 公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。 |
| 問11 | 答え 3 国司 | 国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。 |
| 問12 | 答え 4 遣唐使 | 遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。 |
| 問13 | 答え 1 沿岸警備 | 防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりませんでした。彼らの任務は国の平穩を守るための最前線でした。 |
| 問14 | 答え 2 平城京 | 710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。 |
| 問15 | 答え 2 鑑真 | 鑑真は唐で名高い高僧でしたが、日本の僧侶からの要請に応え、5回もの失敗や失明という苦難を乗り越えて6回目ようやく来日を果たしました。奈良の東大寺に戒壇を築き、多くの僧に戒律を授けました。また、その後には唐招提寺を開いています。 |
| 問16 | 答え 1 平城京 | 710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。 |